

# 大雪山の火山活動解説資料（平成29年3月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

## ○ 活動概況

- ・ 噴気などの表面現象の状況（図1-①、図2）  
旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さは火口上概ね 100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。
- ・ 地震及び微動の発生状況（図1-②）  
火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

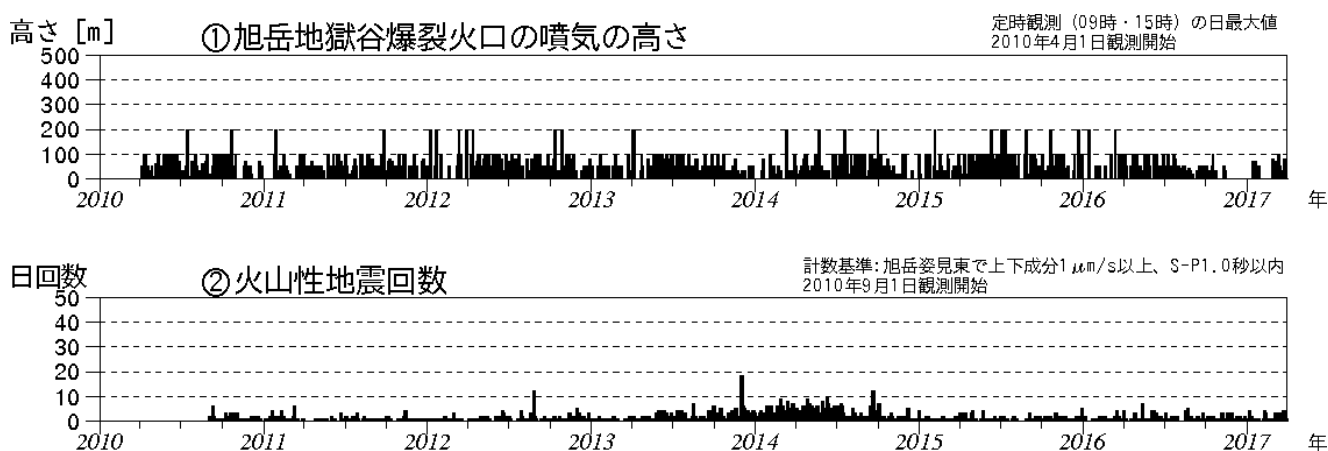


図1 大雪山 火山活動経過図（2010年4月～2017年3月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。

次回の火山活動解説資料（平成29年4月分）は平成29年5月11日に発表する予定です。



図2 大雪山 西側から見た旭岳の状況 (3月13日、忠別湖東監視カメラによる)

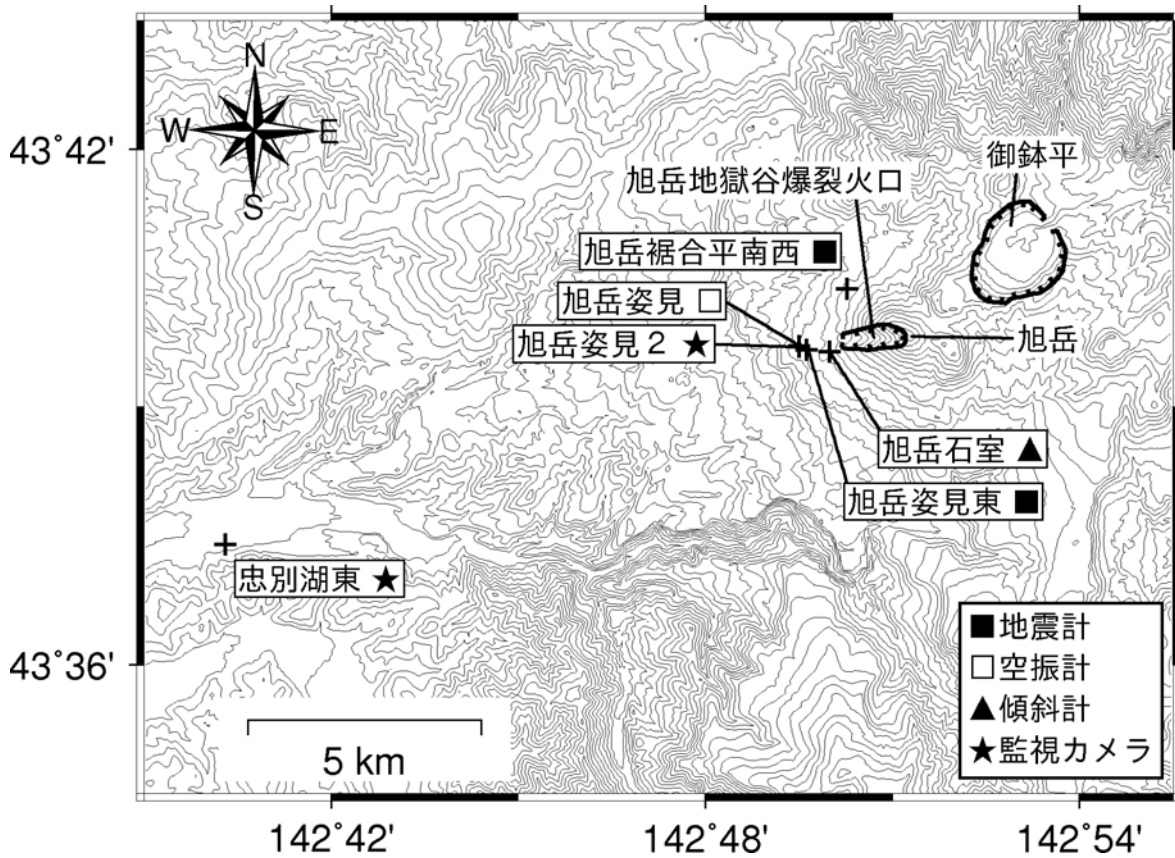


図3 大雪山 観測点配置図  
+印は観測点の位置を示します